

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-244081

(43)Date of publication of application : 14.09.1998

(51)Int.Cl.

B26B 13/06

(21)Application number : 09-049062

(71)Applicant : SAGO NORIO

(22)Date of filing : 04.03.1997

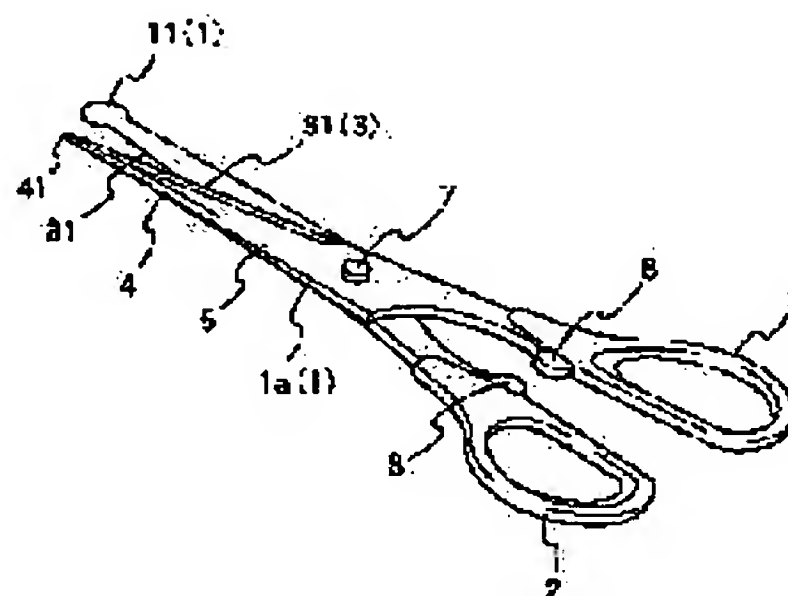
(72)Inventor : SAGO NORIO

(54) SCISSORS FOR CLIPPING

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide scissors for clipping by which a newspaper after the clipping of the necessary news item, can be kept without coming apart, and the newspaper can be put in good order.

SOLUTION: A cutter blade 4 is formed on a part of a ridge 1a of one scissor blade 1 of two scissor blades 31 of the scissors, in addition to a cutting part 3 for cutting a thing while holding the same between two cutting blades 31, 31.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's

decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-244081

(43) 公開日 平成10年(1998) 9月14日

(51) Int. Cl.⁶
B 2 6 B 13/06

識別記号

P 1
B 2 6 B 13/06

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平9-49062

(22) 出願日 平成9年(1997) 3月4日

(71) 出願人 594018658

佐合 則夫

三重県四日市市大字東阿倉川750番地の1

(72) 発明者 佐合 則夫

三重県四日市市大字東阿倉川750番地の1

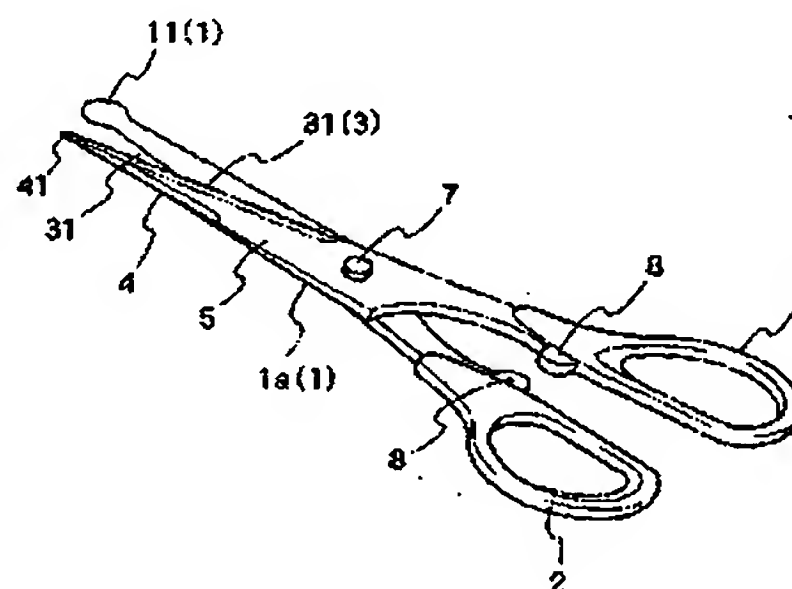
(74) 代理人 弁理士 小林 宜延

(54) 【発明の名称】 切り抜き用ハサミ

(57) 【要約】

【課題】 必要な記事だけ切り抜いて、残った新聞などがバラバラにならず、整然とした状態であとかなずけでできる切り抜き用ハサミを提供する。

【解決手段】 二枚の切刃31、31で挟んで切る切断部3に加え、該二枚の切刃31のうちの切刃のハサミ片1に係る棒1aの一部にカッター刃4を形成するようにした。



(2)

特開平10-244081

1

2

【特許請求の範囲】

【請求項1】 二枚の切刃で挟んで切る切断部に加え、該二枚の切刃のうち一の切刃のハサミ片に係る縁の一部にカッター刃を形成するようにしたことを特徴とする切り抜き用ハサミ。

【請求項2】 前記カッター刃が形成されたハサミ片の端部分に、該カッター刃の刃方向に合わせた縦長の溝を形成し、更に、該溝に横断面C状の鞘を摺動自在に嵌着してカッター刃を被覆できるようにした請求項1記載の切り抜き用ハサミ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、新聞記事や雑誌などの必要箇所を切り抜きするのに役立つ切り抜き用ハサミに関する。

【0002】

【従来の技術】資料収集すべく、新聞記事などで必要部分を切り取る場合、従来は、新聞の側縁から切り取るうとする記事の所までハサミを入れて切り込んでいき、しかる後、その記事周りをハサミでカットする手法が一般に採られていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところで、新聞の側縁から目標の記事をめがけて切り込んでいくのであるが、斯る切り込み部分は、本来、切る必要のないところであり時間の浪費であった。そして、記事を切り抜いた新聞は、側縁からほぼ中央付近にある切り抜き部までカットされており、残った新聞はバラバラ状態になって收拾がつかないことが多かった。あとかたづけも厄介で、残った新聞は、殆ど丸めてゴミとして捨てられていた。

【0004】本発明は上記課題点を解決するもので、必要な記事だけ切り抜いて、残った新聞などがバラバラにならず、整然とした状態であとかたづけできる切り抜き用ハサミを提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、請求項1記載の本発明の要旨は、二枚の切刃で挟んで切る切断部に加え、該二枚の切刃のうち一の切刃のハサミ片に係る縁の一部にカッター刃を形成するようにしたことを特徴とする切り抜き用ハサミにある。請求項2記載の本発明の切り抜き用ハサミは、請求項1で、カッター刃が形成されたハサミ片の端部分に、該カッター刃の刃方向に合わせた縦長の溝を形成し、更に、該溝に横断面C状の鞘を摺動自在に嵌着してカッター刃を被覆できるようにしたことを特徴とする。

【0006】請求項1の発明のごとく、切刃の他にカッター刃が形成されていると、本来のハサミの役割は勿論、カッターの機能を備えるので、カッター刃を使って新聞などの必要箇所だけの切り抜きカット（くり抜き）ができる。請求項2の発明のように、鞘が設けられてい

ると、不使用時にカッター刃を鞘で覆うことができるので、安全性にも優れたものとなる。

【0007】

【発明の実施の形態】以下、本発明に係る切り抜き用ハサミについて詳述する。

【0008】（1）実施形態1

図1～図4は本発明の切り抜き用ハサミ（以下、単に「ハサミ」という。）の一形態で、図1はハサミの全体斜視図、図2は図1のハサミを使って切り抜きをしている使用状態図、図3は図1のハサミを閉じた状態にした正面図である。

【0009】ハサミは、紙ハサミで、一対のハサミ片1、1が支軸7で連結されている。ハサミには基端側に指輪2があり、先端側に対向する二枚の切刃31、31で紙を挟んで切ることできる切断部3を備えて、従前と同様のハサミの機能を発揮する。

【0010】そして、本ハサミにおいては、更に二枚の切刃31、31のうち一の刃（ハサミ片）の根1aの一部にカッター刃4を形成する。図1では、上側に位置するハサミ片1の縁1aの先端部分にカッター刃4が設けられている。新聞9などの中ほどにある記事91を切り抜きする場合は、このカッター刃4を使って、例えば図2のようにカッター刃4を所定の記事周辺部分に当て、矢印方向（手前）に引くようにして押し切る。この動作だけで、新聞9の中ほどに切り込みCが可能になり、一定長さの切り込みCを入れれば、後は、切断部3を使って通常のハサミ動作でもって所望部分だけを切り抜きできるようにする。勿論、カッター刃4だけを使って、記事91を切り抜いてもよい。

【0011】また、本ハサミは、指輪2の内側に接点突起が設けられ、ここに安全確保のため磁石8を取り付け、磁石8の吸引力によって、不要時はハサミが閉じやすい状態にしている。そして、ハサミが閉じられた状態になると、カッター刃4の全ての刃が図3のごとく下側に位置するハサミ片1の内に入るように形成している。カッター刃4の先端については、更に安全性向上を図るべく、ハサミが閉じた状態下で下側のハサミ片1の先端円形部11がカッター刃4の切っ先を大きく囲っている。

【0012】図4は、図1～図3とは別態様のハサミで、カッター刃4を使って切り込みがより楽になし得るよう、切っ先41を内側の切刃31に向けて斜めカットしたものである。切断部3で紙などを切る場合、切っ先41を使うことは殆どなく、通常、切刃31の中ほど部分が使われる。一方、カッター刃4で切り込みを入れる場合は、切っ先41が重要な役割を担う。切り抜き作業は、切っ先41がまず紙面を貫通するところから始まり、その後、押し切りへと移行していく。斯る点を鑑み、ここでは、従前のハサミの先端部32（図4の二点鎖線）を斜めカットして、カッター刃4の機能を一段と

(3)

特開平10-244081

3

4

高めた構造としている。

【0013】(2) 実施形態2

本実施形態は、図5、図6のごとくハサミで、図5は図1と別形態のハサミの正面図、図6は図5に用いた鞘の斜視図である。本ハサミは、鞘部分5の面積を図示のように実施形態1に比べ大きくとって、この鞘部分5にカッター刃4の刃方向に合わせた縦長の溝51を形成している。そして、該溝51を利用してカッター刃4が保護される鞘6を設けている。ここでは、図6のような横断面C状の鞘6を作製し、相対向する側縁部分61、61をそれぞれ、鞘部分5の表側及び裏側に形成された溝51に嵌着して、鞘6を摺動自在に取り付ける。カッター刃4の使用時は鞘6を支軸寄りに移動させて使うが、不使用時は鞘6を図5の矢印方向へ移動させて、カッター刃4を鞘6で保護できるようにしている。本実施形態の鞘6は、一端側に切欠部62が設けられている(図6)。この切欠部62を設けると、図5のように不使用時に切っ先41まで鞘6で確実に覆えるようになり、より好都合となる。符号8は指輪2の内側に設けた磁石である。本形態も不使用時に不用意にハサミが開く状態をなくして安全確保を図っている。他の構成は、基本的に実施形態1と同じでその説明を省略する。

【0014】(3) 効果

このように構成したハサミは、従来の挟んで切る切断部3の他に、カッター刃4を備えているので、新聞などの切り抜きを容易になし得る。新聞の切り抜きにあたっては、周辺から切り込んでいた従来のやり方を採らず、必要な記事91の周囲を直接、カッター刃4を使って簡単に抜き取ることができる。便利さは勿論、時間もかけずに効率的に実施できる。更に、図4のようなカッター刃4を形成すると、本来のハサミとしての使い方に支障を与えることなく、カッター刃4の切れ味が優れるようになるので、一層効果的なハサミになる。また、周辺から切り込んでいかなかったので、残った新聞などが従来のようにバラバラにならないメリットがある。必要な記事91の所だけが抜き取られているだけなので、残った新聞9はきれいに折り畳んで収納できる。切り抜き作業が終わった段階で、きりくずがいっぱい出ていた以前の不具合は改善される。そして、ハサミの不使用時には磁石8に*

*よって閉じ易くし、このとき、カッター刃4を設けた箇所は、その全ての刃が別のハサミ片1の内に入るように形成しているので、安全性も高くなっている。加えて、実施形態1の先端円形部11を設けたり実施形態2の鞘6を設けたりすることによって、異なる安全性確保を図れるようになる。

【0015】尚、本発明においては、前記実施例に示すものに限られず、目的、用途に応じて本発明の範囲で種々変更できる。ハサミ片1、指輪2、切断部3、カッター刃4、鞘部分5、鞘6等の形状、大きさなどは用途に合わせて適宜選択できる。

【0016】

【発明の効果】以上のごとく、本発明の切り抜き用ハサミは、本来のハサミの機能は勿論、カッター刃を備えているので、新聞などの記事の切り抜きにあたって、ハサミで周辺から切り込んでいく作業はらず、カッター刃を用いて必要な記事部分だけを切り抜くことができ、作業のスピーディさ、ゴミを出さない後かたづけの容易さなど極めて有益となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】実施形態1のハサミの全体斜視図である。

【図2】図1のハサミを使って切り抜きをしている使用状態図である。

【図3】図1のハサミを閉じた状態にした正面図である。

【図4】図1のハサミと別形態のハサミで、切り先周りの部分拡大図である。

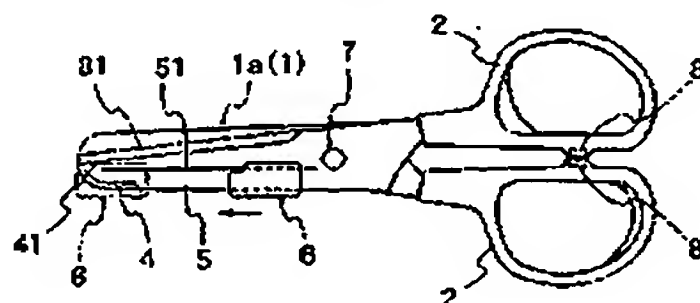
【図5】実施形態2のハサミの正面図である。

【図6】図5に用いた鞘の斜視図である。

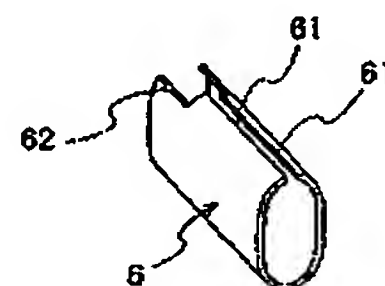
【符号の説明】

1	ハサミ片
1a	棟
3	切断部
31	切刃
4	カッター刃
5	鞘部分
51	溝
6	鞘

【図5】



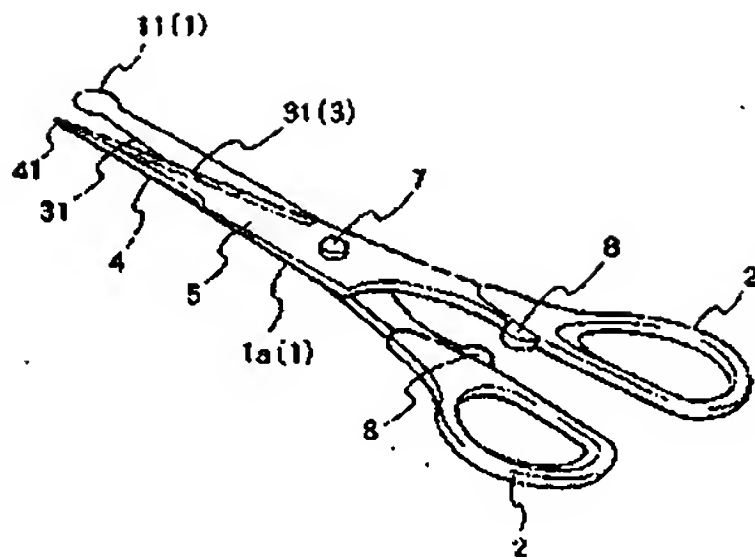
【図6】



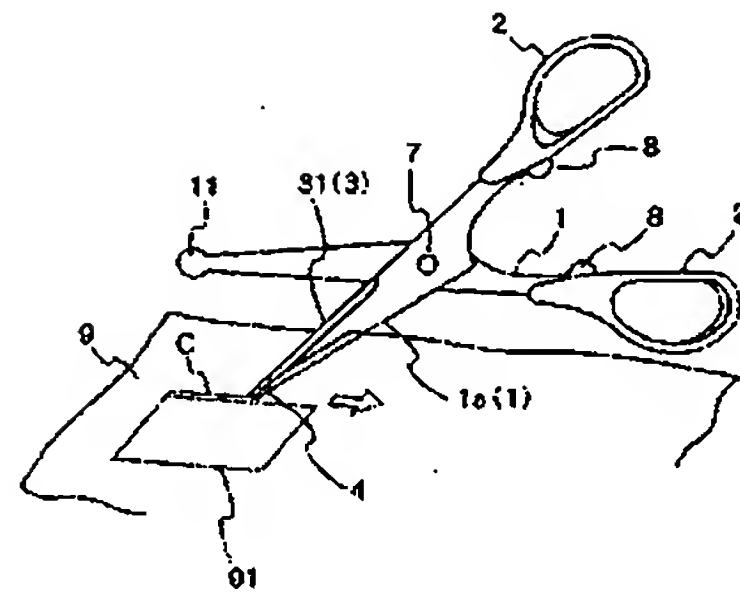
(4)

特開平10-244081

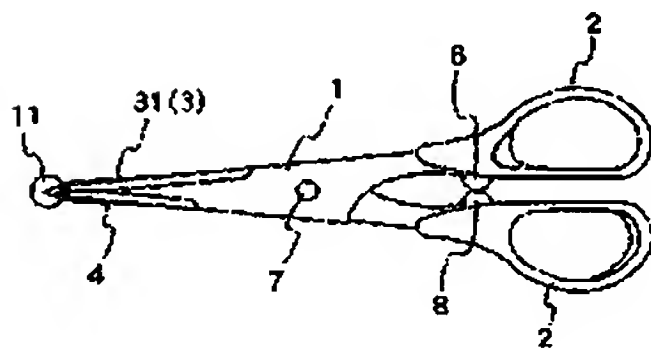
【図1】



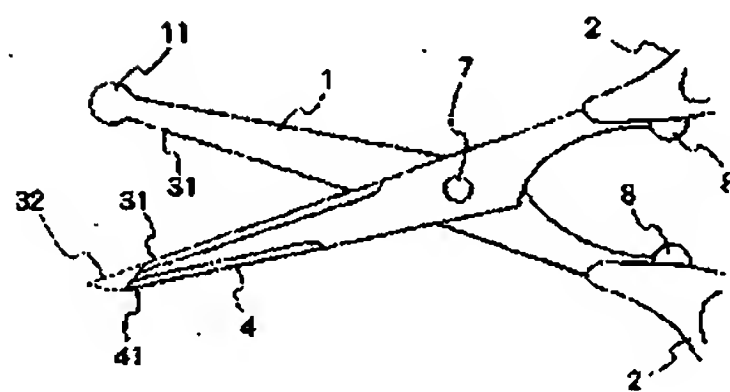
【図2】



【図3】



【図4】



⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑪ 公開実用新案公報 (U)

昭56-28858

⑫ Int. Cl.³

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 昭和56年(1981)3月18日

B 25 B 7/22

6502-3C

B 26 B 13/06

7222-3C

17/00

7222-3C

審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑭ 手作業工具

門真市大字門真1006番地松下電
器産業株式会社内

⑮ 実 願 昭54-110026

⑯ 出 願 人 松下電器産業株式会社

⑰ 出 願 昭54(1979)8月9日

門真市大字門真1006番地

⑱ 考 案 者 米谷圭亮

⑲ 代 理 人 弁理士 中尾敏男 外1名

⑳ 実用新案登録請求の範囲

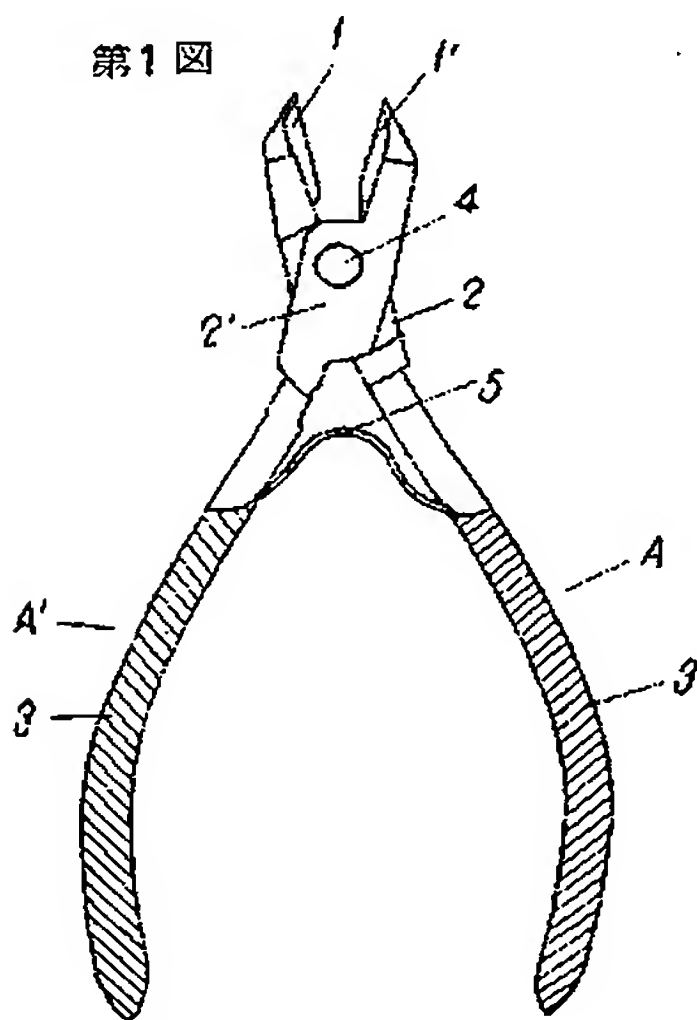
先端に作業部、中間に枢着部、他端に握柄部をもつ工具杆を2個相対向するように上記枢着部を交叉重合するように枢軸で枢着してなる手作業工具において、上記一方の工具杆の握柄部の端部内側にマグネットを固着し、他方の工具杆の握柄部の端部に外側に上記マグネットと吸引し合う磁極をもつマグネットと、反発し合う磁極をもつマグネットを取付けた回動部を設けてなる手作業工具。

図面の簡単な説明

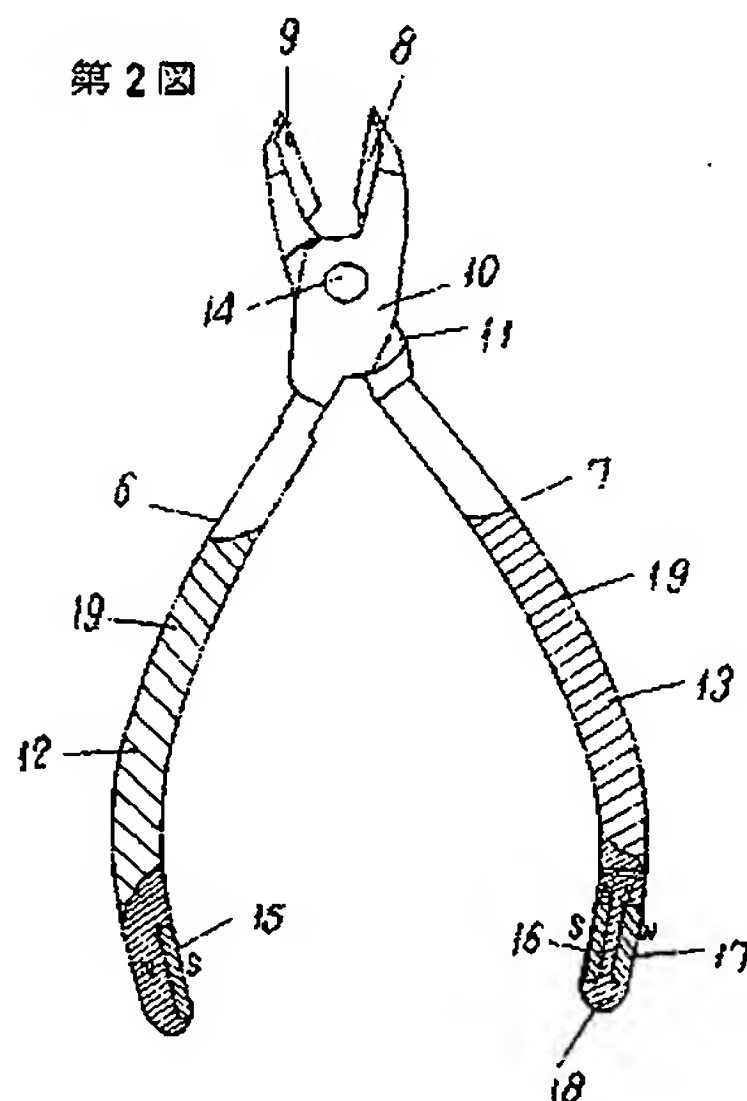
第1図は従来の手作業工具の上面図、第2図は本考案の手作業工具の一実施例を示す上面図、第3図は同不使用時の状態を示す上面図である。

8, 7……工具杆(刃杆)、8, 9……作業部(刃先部)、10, 11……枢着部、12, 13……握柄部、14……枢軸、15, 16, 17……マグネット、18……回動部。

第1図



第2図



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2004/012200

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

Int.Cl⁷ A01G3/02, B25B7/14, B26B13/12, B26B13/28

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int.Cl⁷ A01G3/02, B25B7/14, B26B13/12, B26B13/28

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2004
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2004	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2004

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X A	JP 7-80164 A (Kabushiki Kaisha Shigeru Kogyo), 28 March, 1995 (28.03.95), Full text; Figs. 1 to 5 (Family: none)	1, 5 2-4
A	JP 10-244081 A (Norio SAGO), 14 September, 1998 (14.09.98), Full text; Figs. 1 to 6 (Family: none)	1-5



Further documents are listed in the continuation of Box C.



See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
29 October, 2004 (29.10.04)Date of mailing of the international search report
16 November, 2004 (16.11.04)Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2004/012200

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	Microfilm of the specification and drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 110026/1979 (Laid-open No. 28858/1981) (Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.), 18 March, 1981 (18.03.81), Full text; Figs. 1 to 3 (Family: none)	1-5